

4月20日（月）全校朝会講話（要約）

4月16日（木）に政府が新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、全国の都道府県に緊急事態宣言を出しました。それを受けて27日（月）から5月6日（水）まで再び臨時休業となります。

今から約120年前の日清戦争の日本の死者が1万人でした。アメリカやヨーロッパですでに1万人以上の死者を出している国があります。まさにウィルス戦争の真ただ中との認識が必要だと感じています。

今の日本もウィルスという目に見えない銃弾が飛び交っています。何とかここで踏みとどまるために、政府は、人との接触を8割減らすことを求めています。不要不急の外出はしないようにしましょう。

まず、この一週間は緊張感をもって学校生活を過ごして、自宅に避難させることができればと思っています。皆さん一人一人の自覚と協力が必要です。

さて、今日話したいことは「これを機会に、今後どのように過ごすか」ということです。結論から言うと、「主体的に学んでほしい」ということです。主体的とは自主・自立のことです。

私が最近印象に残ったのがGACKTさんです。「芸能人格付けチェック」という番組で、2009年から出場し、今まで63回外れがない人です。今年の1月1日の番組で、なぜ当たるのかというインタビューで、“知識のアップデート”という話をしていました。

ワインを飲むときに、“どんなワインなのか、いつできたのか、どんな風に作られたのか、どこで作られたのか、誰が作ったのか、どんな歴史があるのか”ということを知識として一緒に体の中に入れていく行為があるから覚えているのであって、単に「おいしい、おいしくない」で判断しているのではない”と言っています。

さらに知識についてこうも言っています。「知識と経験って誰にも奪われることない一番の財産だと思うんです。」「人生ってアップデートだと思うんですよ。じゃなかったら長く生きてる意味ってないじゃないですか。」

このコメントから、興味のあることに対して深く学んでいる姿が浮かんできます。そして知識が体の一部となって染みつき、ものごとの判断の材料となった状態が、GACKTさんの言う知識のアップデートなのだと思います。

やらされているのではなく、自分を高めるために主体的に学ぶ姿勢が身に付いていることはすごいことだと思います。

今後、学校でしっかりと授業ができる補償がありません。しかし、3年生は受験が控えています。自分で学習する人と、しない人の差が大きく開いていくことが予想されます。この機会に時間をかけて苦手教科を克服する人や、得意な教科を伸ばすことに時間を有効に活用できる人にとってはチャンスになります。

与えられたプリントを形だけ提出すればいいと、いきなり答えを写して提出しようとする人もいるでしょう。この意識の差はその後の行動の差になり、実力の差になります。ですから、私が皆さんに臨むのは、ぜひ、自分でできることを自分で考えて、ねばり強く実行する強い意志をもってほしいということです。

ぜひ、この機会に”知識のアップデート”と”主体性のアップデート”をしてほしいと思います。